

平成25年度

入学者選抜要項

宮崎公立大学

宮崎公立大学はこんな人を求めています

英語とICTの運用能力を備え、異文化の深い理解のもとに、さまざまな民族と協調し、対等にコミュニケーションを図ることができ、かつ将来の進路について明確なビジョンをもった人材の育成をめざして、本学は次のような人を求めています。

この教育目標を十分に理解し、

- ①英語の十分な基礎力を備え、
- ②地域・文化・社会への関心が高く、
- ③自分の将来に向けて主体的に行動したい人

〔 目 次 〕

I	募集人員	1
II	一般選抜	1
III	特別選抜等	4
●	推薦入学	4
●	帰国子女特別選抜	5
●	社会人特別選抜	6
●	私費外国人留学生入学者選抜	7
IV	身体に障害がある入学志願者との事前相談	8
V	学生募集要項の配布	8
VI	問い合わせ・事前相談・募集要項請求先	9
VII	宮崎公立大学の概要	10

I 募集人員

学部・学科	入学定員	募 集 人 員					
		一 般 選 抜		特 別 選 抜 等			
		前 期 日 程	後 期 日 程	推 薦 入 学	帰 国 子 女	社 会 人	私 費 外 国 人 留 学 生
人文学部 国際文化学科	200名	100名	50名	50名	若干名 〔一般選抜前期日程 募集人員の内数〕		

II 一般選抜

1 出願資格

平成25年度大学入試センター試験のうち、本学の指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および平成25年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および平成25年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および平成25年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- (4) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で18歳に達した者および平成25年3月31日までにこれに該当する見込みの者

【注意】

(4)により出願を希望する者は、平成24年7月2日（月）から平成24年8月31日（金）までに入学資格認定のための申請書を提出する必要があります。ついては、早めに宮崎公立大学学務課まで問い合わせてください。

ただし、平成25年度大学入試センター試験を受験した者で、受験後に本学の入学資格の認定を受けようとする場合は、平成25年1月21日（月）から平成25年1月25日（金）までに入学資格認定のための申請書を提出してください。

2 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査等の成績および調査書の内容を総合して行います。

試験科目および試験時間

大学入試センター試験利用教科・科目		個別学力検査等	
		学力検査教科・科目・範囲等	試験時
前期日程	[3教科・3科目] (必須) 国語「国語」 外国語「英語」 (※リスニングを含む) (選択)	外国語(英語) [英語Ⅰ、英語Ⅱ、 リーディング ライティング]	120分
後期日程	①地理歴史・公民 (「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理、政治・経済」) ②数学 (「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」) 上記①②の12科目から1科目	小論文 [英文資料の読解を含む]	120分

3 選抜に係る期日

出願期間	選抜期日		合格発表
平成25年1月28日(月) ～2月6日(水)	前期日程	平成25年2月25日(月)	平成25年3月5日(火)
	後期日程	平成25年3月12日(火)	平成25年3月20日(水・祝)

4 学力検査等の配点

① 前期日程試験

区分	国語	英語	地理歴史・公民	数学	合計
大学入試センター試験	200	200	(200)	(200)	600
個別学力検査	—	200	—	—	200
合計	200	400	(200)	(200)	800

(注) 1 大学入試センター試験の英語は「筆記」(200点満点)と「リスニング」(50点満点)の合計得点を200点満点に換算して利用します。

(注) 2 大学入試センター試験で、地理歴史・公民および数学のうち複数教科を受験した場合は、その中の最高得点の1教科を採用します。

(注) 3 配点に()の付してある教科は選択教科を表します。

② 後期日程試験

区 分	国 語	英 語	地理歴史 ・公民	数 学	小論文	合 計
大学入試センター試験	200	200	(200)	(200)	—	600
個 別 学 力 検 査	—	—	—	—	200	200
合 計	200	200	(200)	(200)	200	800

(注) 1 大学入試センター試験の英語は「筆記」(200点満点)と「リスニング」(50点満点)の合計得点を200点満点に換算して利用します。

(注) 2 大学入試センター試験で、地理歴史・公民および数学のうち複数教科を受験した場合は、その中の最高得点の1教科を採用します。

(注) 3 配点に()の付してある教科は選択教科を表します。

5 その他

入学手続き者が入学定員に満たない場合の欠員補充の方法は、追加合格によります。

Ⅲ 特別選抜等

● 推薦入学

1 出願資格

次のいずれにも該当する者。

- (1) 宮崎県内の高等学校もしくは中等教育学校を平成24年度卒業見込みの者または平成24年度内卒業者、もしくは宮崎県内の学校において通常の課程による12年の学校教育を平成24年度修了見込みの者または平成24年度内修了者
- (2) 全体の評定平均値が4.0以上の者
- (3) 外国語（英語）の評定平均値が4.3以上の者または実用英語検定準2級以上取得の者
- (4) 志願する学科に対する能力・適性について出身学校長が責任をもって推薦できる者
- (5) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

(注) 大学入試センター試験の受験は必要ありません。

2 選抜方法

入学者の選抜は、小論文、面接および調査書その他出願書類の内容を総合して行います。

3 選抜に係る期日

出願期間 平成24年11月5日（月）～11月8日（木）

選抜期日 平成24年11月23日（金・祝）・11月24日（土）

合格発表 平成24年12月5日（水）

● 帰国子女特別選抜

1 出願資格

日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であり、外国において教育を受けた者で、次のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成23年4月1日から平成25年3月31日までに卒業した者および卒業見込みの者（修了および修了見込みの者を含む。）で、外国において最終学年を含め2年以上継続して学校教育（外国における日本の学校教育に相当する教育を除く。）を受けている者
- (2) 日本の高等学校もしくは中等教育学校を平成23年4月1日から平成25年3月31日までに卒業した者または卒業見込みの者のうち、中学校・高等学校もしくは中等教育学校を通じて3年以上外国の学校教育（外国における日本の学校教育に相当する教育を除く。）を受け、かつ日本の高等学校もしくは中等教育学校の後期課程の在学期間が2年未満の者
- (3) 外国において、国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）またはバカロレア資格（フランス共和国）を平成23年または平成24年に授与された者で、平成25年3月31日までに18歳に達する者

※ 出願資格について不明な点がある場合は、必ず出願期間前に余裕を持って宮崎公立大学学務課に相談してください。

(注) 大学入試センター試験の受験は必要ありません。

2 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査（英語）、小論文、面接および出願書類の内容を総合して行います。

3 選抜に係る期日

出願期間 平成24年11月5日（月）～11月8日（木）

選抜期日 平成24年11月23日（金・祝）・11月24日（土）

合格発表 平成24年12月5日（水）

● 社会人特別選抜

1 出願資格

平成25年4月1日現在で満23歳以上の社会人で、次のいずれかに該当し、かつ、合格した場合に入学することを確約できる者。ただし、出願時において学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する学校に在籍する者は出願できません。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む）

※ 出願資格について不明な点がある場合は、必ず出願期間前に余裕を持って宮崎公立大学学務課に相談してください。

(注) 大学入試センター試験の受験は必要ありません。

2 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査（英語）、小論文、面接および出願書類の内容を総合して行います。

(注) 英語については英文読解のみとし、辞書の持ち込みを認めます。

3 選抜に係る期日

出願期間 平成24年11月5日（月）～11月8日（木）

選抜期日 平成24年11月23日（金・祝）・11月24日（土）

合格発表 平成24年12月5日（水）

● 私費外国人留学生入学者選抜

1 出願資格

外国籍を有し、平成23年度もしくは平成24年度日本留学試験（日本語・総合科目・数学〈コース1、2いずれでも可〉、出題言語は日本語とする）を受験した者で、次のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および平成25年3月修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (2) 外国において、国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）またはバカロレア資格（フランス共和国）を授与された者で、平成25年3月31日までに18歳に達する者

(注) 大学入試センター試験の受験は必要ありません。

2 選抜方法

入学者の選抜は、平成23年度もしくは平成24年度日本留学試験の成績、日本語による小論文、面接および出願書類の内容を総合して行います。また、日本語能力試験の成績を合否判定の参考資料として利用します。

※日本語能力試験は、平成23年度もしくは平成24年度に受験した日本語能力試験で最も高いレベルの試験の合否結果通知書《原本》を提出してください。

3 選抜に係る期日

出願期間 平成24年11月5日（月）～11月8日（木）

選抜期日 平成24年11月23日（金・祝）・11月24日（土）

合格発表 平成24年12月5日（水）

IV 身体に障害がある入学志願者との事前相談

身体に障害がある入学志願者は、受験上および修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、本学に出願する以前に宮崎公立大学学務課まで連絡し、事前相談をしてください。

V 学生募集要項の配布

本学の入学者選抜については、その詳細を学生募集要項で必ず確認してください。

1 配布開始時期

選 抜 区 分	配布開始時期
一般選抜	10月下旬
推薦入学	9月下旬 ※
帰国子女・社会人・私費外国人留学生	9月下旬

※推薦入学の学生募集要項は宮崎県内各高校に送付しますので個人請求には応じられません。

※資料完成日までの請求は、予約受付となります。

2 請求方法

請求方法は次のとおり複数ありますので希望する方法で入手してください。ただし、帰国子女・社会人・私費外国人留学生の学生募集要項の請求は、(3)及び(4)のみの取扱いになります。

(1) テレメールで請求する場合

①インターネット、または電話からの請求

STEP1 インターネット（パソコン・携帯電話・スマートフォン）または電話をご利用ください。



テレメール

インターネット（パソコン・携帯電話・スマートフォン）の場合		電話の場合	
【URL】 http://telemail.jp		I P 電話	050-8601-0101
2次元コード ※対応する携帯電話で 読み取れます。			

※一般電話回線からのIP電話通話料は日本全国どこからでも3分毎に約11円です。

STEP2 資料番号（6桁）を入力またはプッシュしてください。

資料名	資料番号	送料
一般選抜募集要項	588052	240円
一般選抜募集要項+大学案内	548152	390円
大学案内	568062	390円

STEP3 あとはガイダンスに従って登録してください。

*受付から2、3日で送付されます。ただし、郵送開始日までの請求は予約受付となり、郵送開始日になりましたら一斉に郵送いたします。

*送料をお支払いになる際必要となるので、一度ご利用になられた暗証番号（4桁）は必ず控えておいてください。

- *送料の支払方法については、資料に同封された書類に記載されています。
- *電話によるご請求の場合、住所、名前の登録時は、ゆっくりはっきりとお話してください。

② 郵便局で請求する場合《一般募集要項のみ》・・・10月から受付開始

郵便局（普通局、特定局）に設置されている「全国国公立大学・短期大学／私立大学・短期大学募集要項（願書）請求申込書」（入学願書ゆうパックカタログ）に必要事項を記入の上、送料と払込手数料120円を添えて、最寄りの郵便局に申し込んでください。


■上記(1)についてのお問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター

TEL 050-8601-0102（9：30～18：00）

(2) モバっちょでの請求



パソコン、携帯電話共通	
【URL】 http://djc-mb.jp/miyazaki-mu3/	
	*携帯電話の場合は、左の2次元コードからもアクセスできます。

■上記(2)請求方法についてのお問い合わせ先

大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター

TEL 050-3540-5005（平日 10：00～18：00）

(3) 大学窓口で直接受領する場合

月曜日から金曜日（ただし、祝日を除く）の8時30分から17時15分までの間に宮崎公立大学学務課において受領してください。

(4) 大学へ直接郵送請求する場合

封筒の表に「〇〇選抜学生募集要項請求」と朱書きし、**角型2号**の返信用封筒を同封して「**VI 募集要項請求先**」にお申し込みください。

(注) 1 封筒の表の〇〇には、次の選抜の種類の内いずれかを書きます。

「一般選抜」「帰国子女」「社会人」「私費外国人留学生」

(注) 2 返信用封筒には返送先の住所・氏名を明記し、通常郵便での返送であれば、一般選抜は240円分、それ以外は390円分の切手を、また、速達郵便での返送希望の場合は通常料金+270円分の切手を貼付してください。

(注) 3 2部以上の募集要項を請求される場合は、郵便料金が上記と異なりますので、宮崎公立大学学務課まで問い合わせてください。

VI お問い合わせ・事前相談・募集要項請求先

宮崎公立大学学務課 宮崎市船塚1丁目1番地2 〒880-8520

電話 0985(20)2212

ホームページアドレス <http://www.miyazaki-mu.ac.jp/>

VII 宮崎公立大学の概要

1 学部・学科と入学定員

学部・学科 人文学部・国際文化学科
入学定員 200名

2 大学の概要

(1) 沿革

本学は、宮崎公立大学事務組合が設置主体となり、平成5年4月に開学しました。その後、平成19年4月には、法人化に伴い、宮崎公立大学事務組合が設立する「公立大学法人 宮崎公立大学」が大学の設置主体となりました。

また、平成23年3月末をもって宮崎公立大学事務組合は解散し、同年4月1日からは、宮崎市が「公立大学法人 宮崎公立大学」の設立団体となりました。

なお、平成22年3月には、文部科学省が認める第三者評価機関である（財）大学基準協会による認証評価を受け、「適合」判定をいただきました。

(2) 建学の理念・目的

本学は、広く知識を授け、深く専門の学術を教授研究し、高い識見と国際的な視野を持つ人間性豊かな人材を育成するとともに、広く地域に開かれた大学として生涯学習の振興、産業経済の発展および文化の向上に貢献することを建学の理念・目的としています。

(3) 人材養成目的・教育目標

① どのような人材を養成するのか

- 1) 人間教育によるグローバル・リーダー
- 2) 総合力を備えた専門家

グローバル・リーダーとは、異文化を深く理解し、異なる民族とも協調でき、他者と自由で対等なコミュニケーションをする能力をもち、国際関係における不平等や脅威に対してグローバルな連帯によって立ち向かう人です。

② 3つの教育目標

- 1) 英語とICT（情報通信技術）の高度な運用能力の養成
- 2) 比較文化、コミュニケーション、国際関係についての専門知識を総合的に身につけて、さまざまな角度から事象や情報をとらえることができる能力の養成
- 3) 総合的に習得した専門的な知識と技能を社会生活において表現し活用できる能力の養成

(4) 教育課程の特色

本学では、上に述べた人材養成と教育目標を実現するために、次のような特色を持つ教育課程（カリキュラム）を組んでいます。

【体系的で総合的な教育】

本学の教育課程は、『共通課程』（学生全員が学ぶ共通科目群）と『専門課程』（学生が主体的に選択して学ぶ科目群）から編成されており、4年間一貫して体系的で総合的な教育を行います。

- ① 『共通課程』には、「語学（英語）教育」「コンピュータ」「スポーツ・健康科学」「基礎講義」「キャリア教育」「講義演習」「演習（ゼミ）」に関連する科目が配置されています。大学でより有効に学ぶために不可欠の基礎的な知識と技能を身につけます。また、自分の問題意識のきっかけをつかんだり、目的意識を高めたりしながら、主体的に

学ぶ基本的な姿勢を修得します。

②『専門課程』は、「5 専門課程科目群（通称 5 コース）」「演習科目群」「総合政策科目群」「キャリア教育科目群」「外国語科目群」で編成されています。

「5 専門課程科目群（通称 5 コース）」には、「英語」「情報・基礎科学」「比較文化」「コミュニケーション」「国際関係」に関連する科目が体系的に配置されています。これらの5つの領域に配置された科目を学生が主体的に選択し横断的に学習することによって、広い教養と深い専門知識に裏打ちされた人間性豊かな総合力を修得します。

「演習科目群」は「専門演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」から編成されています。「共通課程」の「基礎演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」では大学での学習に不可欠な基礎的な知識と技術を学び、「専門演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」ではより専門的な研究方法と内容を学びます。問題探求能力を向上させ、学年を超えた幅広いコミュニケーションを図る場です。

「総合政策科目群」では、リベラル・アーツの一翼を担う法律・行政・経済などの分野の基本的なものの考え方や問題への取り組み方を学びます。

「キャリア教育科目群」では、自分の能力や個性をよく理解し、卒業後の自分にふさわしい職業および進路を主体的に選択するために必要な知識や技能を身につけるとともに、インターンシップやボランティアなどの科目も学習します。

「外国語科目群」では、韓国語、中国語、フランス語を学習します。

【時代に対応できる広い教養と判断力および豊かな人間性の育成】

グローバル化の時代には、適切な判断力と行動力を備え、広い教養と深い専門的知識に裏打ちされた人間性が必要です。

本学では、英語と ICT（情報通信技術）の高度な運用能力を養成し、また5 専門課程科目群の横断的学習による総合的な専門性を養成することによって、豊かな人間性を育成します。

【外国語教育と情報教育の充実】

国際社会の動きを洞察するために必要な最新の知識や情報を獲得するための手段として、また、コミュニケーションの道具として、英語、韓国語、中国語を徹底的に学習します。

さらに、高度情報化社会に積極的に参加するために、情報の的確な判断力と分析力を理論および実践の両面から養い、情報処理の基本的な技術を習得します。

(5) 教育方法の特色

本学では、教育効果を高めるために、詳細な講義計画書（シラバス）を作成し、次のような特色ある教育方法に基づいて教育が行われます。

【少人数教育】

語学教育、情報教育、演習（「基礎演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「専門演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」）、講義演習（少人数で行う授業形態）などを中心に多くの分野で少人数教育による双方向的な授業が行われます。特に、英語とコンピュータに関連する科目では、学生自身の関心と習熟度に応じてクラス編成が行われ、徹底した早期集中型の学習を行います。

【 Semester制】

Semester制とは、1 年を2 学期に分け、単位の取得を学期単位で行う制度です。広範囲な科目履修ができるとともに、留学生や帰国生徒の受け入れと本学からの海外留学も円滑に行えます。

【ゼミ形式】

1 年次から4 年次まで、全員ゼミを必須科目として履修します。1 年前期から2 年前期は

「基礎演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」で大学での学習に必要な基本的な知識と技術を身につけます。2年後期から4年後期の「専門演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」では、各自の問題関心や目的意識に沿って、研究方法の基本を学習し、卒業論文を作成します。

ゼミは少人数で行うので、教師と学生がコミュニケーションを図りながら、問題探求能力を身につけることを目指して、主体的で細やかな学習ができます。

【実習】

多様な変化とニーズを生み出している現代社会のさまざまな問題を分析し、それらの問題解決に有効な方策を提示するとともに、それを実行し、自己を適切に表現する力を養うために「異文化実習」「ボランティア論」「インターンシップ論」などの実習科目を学習します。

(6) 教育研究環境の特色

本学では、学際的で総合的な学習に取り組めるように、次のような教育研究環境が整備されています。

【図書情報システム】

学内諸施設に最新の機器が配備され、図書検索システムや学内情報ネットワークは教員と学生の教育や研究に活用され、国内外の学術情報機関との連携が図られています。

【語学教育・学習環境】

コンピュータ支援による語学学習（CALL：Computer-Aided Language Learning）システムを活用した語学教育（英語、韓国語、中国語、フランス語など）の充実に努めています。特に英語においては、学生一人ひとりが学内ネットワークを利用しながら、主体的に学習できる環境が整備されています。

【国際交流】

本学は、オールド・ドミニオン大学（米国）、蘇州大学（中国）、蔚山大学校（韓国）、ワイカト大学（ニュージーランド）およびバンクーバーアイランド大学（カナダ）と学術交流協定を、蔚山科学大学校（韓国）と学生交流に関する了解覚書を締結し、教育、文化等の分野で国際交流を推進しています。

蘇州大学・蔚山大学校・蔚山科学大学校と本学の間では、それぞれ毎年1～4名、約半年～1年間の派遣留学生の交換を行っています。また、ワイカト大学へは、毎年1名10ヶ月間の留学生を派遣しており、ワイカト大学からも、1～2名約5ヶ月間の留学生を受け入れています。そして、大学へは、毎年1名4ヶ月間の留学生を派遣しています。これらの派遣留学生には学費免除や単位互換などが認められています。さらに、蘇州大学、蔚山大学校および蔚山科学大学校とは、相互に短期研修を実施し、ワイカト大学およびバンクーバーアイランド大学へは短期研修生を派遣しています。

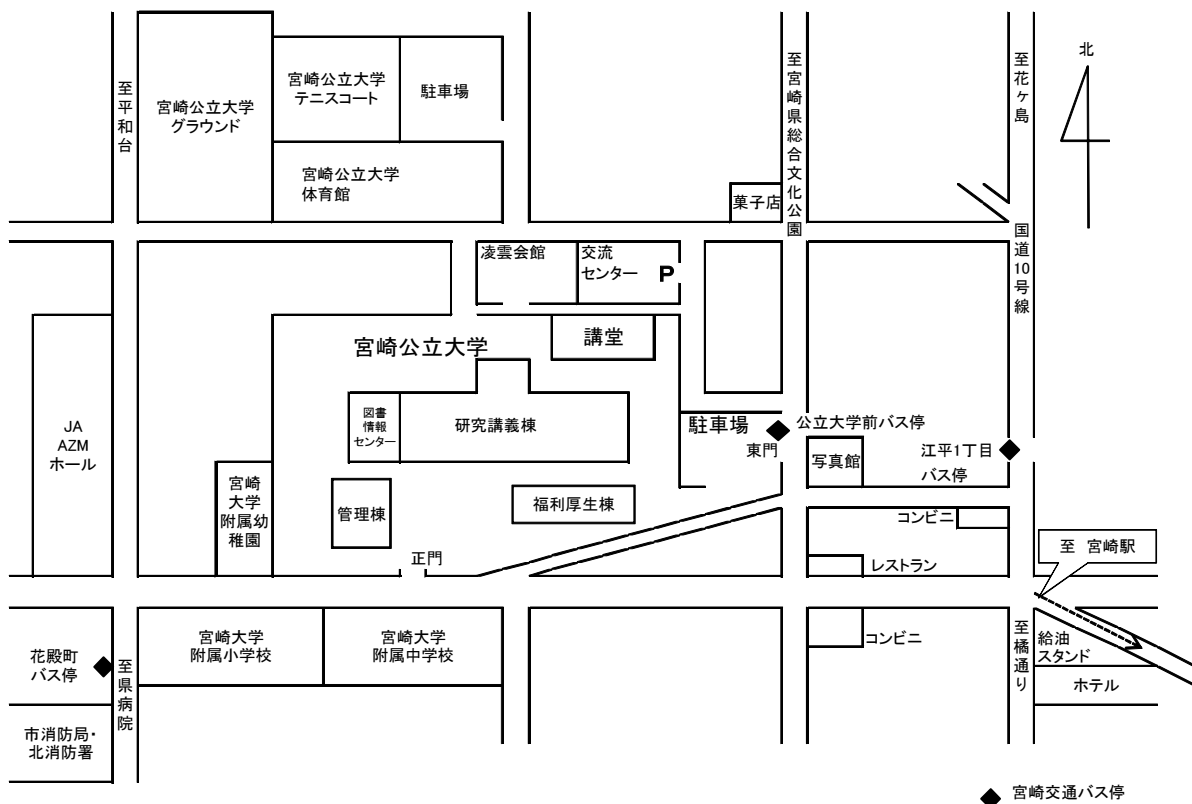
学内には、アメリカ人教員2名、韓国人教員1名の専任教員がいます。また、国際的な学術会議や行事が開催でき、4ヶ国語の同時通訳ができる設備を備えた講堂が設置されています。

【凌雲会館】

凌雲会館は、開学10周年記念事業の一環として建設されたもので、平成17年11月1日オープンしました。施設は2階建てで、1階部分は「学生支援センター」として、学生と教員が自由に語らうことができるラウンジのほか、学生の生活・活動を有機的・有効的に支援する就職活動支援室、後援会・同窓会事務室、ボランティア支援室、学友会、自習コーナーなどが設置されています。

また、2階部分には地域の生活や活動に関わるさまざまな課題等を調査研究し、その結果を地域に還元し、その発展や活性化に寄与する「地域研究センター」が設置され、「市民との協働研究」を中心とした研究が行える環境が整備されています。

宮崎公立大学周辺図



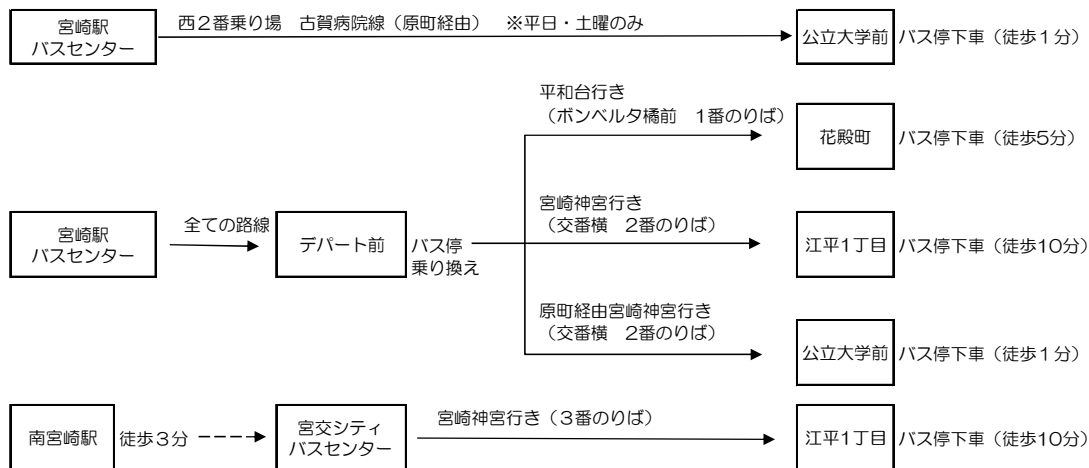
住所：宮崎市船塚1丁目1番地2

電話：0985(20)2212(学務課)

[交通案内]

- 徒歩 JR宮崎駅から約25分
- 乗用車 JR宮崎駅から約5分
- バス

宮崎交通バス利用例





宮崎公立大学

〒880-8520

宮崎市船塚 1 丁目 1 番地 2

TEL 0985-20-2212 (学務課)

ホームページアドレス

<http://www.miyazaki-mu.ac.jp/>

宮崎公立大学 携帯電話サイト

<http://daigakujc.jp/miyazaki-mu/>

右の2次元コードからも
アクセスすることができます

